

記入例

農業経営改善計画認定申請書

日付は空欄

年 月 日

○	由利本荘市長 殿
	秋田県知事 殿
	東北農政局長 殿
	農林水産大臣 殿

申請者	住所	由利本荘市尾崎 1 7		連絡先	〇〇－△△△△
	フリガナ	カブシキガイシャユリホンジョウカズオ	フリガナ	ユリホンジョウ カズオ	
	個人・法人名	株式会社由利本荘一男	代表者氏名 (法人のみ)	由利本荘 一男	
	生年月日・ 法人設立年月日	昭和〇〇年△月□日	法人番号	9999999999999	

農業経営基盤強化促進法（昭和 5 5 年法律第 6 5 号）第 1 2 条第 1 項の規定に基づき、次の農業経営改善計画の認定を申請します。

農 業 経 営 改 善 計 画													
①農業経営体の営農活動の現状及び目標													
(1) 営農類型													
現 状						目 標 (R〇〇 年)							
☒ 稲作 ☐ 麦類作 ☐ 雑穀・いも類・豆類 ☐ 工芸農作物 ☐ 露地野菜 ☐ 施設野菜 ☐ 果樹類 ☐ 花き・花木 ☐ その他の作物 () ☐ 複合経営						☐ 稲作 ☐ 麦類作 ☐ 雑穀・いも類・豆類 ☐ 工芸農作物 ☐ 露地野菜 ☐ 施設野菜 ☐ 果樹類 ☐ 花き・花木 ☐ その他の作物 () ☒ 複合経営							
☐ 酪 農 ☐ 肉用牛 ☐ 養 豚 ☐ 養 鶏 ☐ 養 蚕 ☐ その他の畜産 ()						☐ 酪 農 ☐ 肉用牛 ☐ 養 豚 ☐ 養 鶏 ☐ 養 蚕 ☐ その他の畜産 ()							
(2) 農業経営の現状及びその改善に関する目標													
		現 状		目 標 (R〇〇 年)				現 状		目 標 (R〇〇 年)		主たる従事者の人数	2 人
年間所得		394 万円		870 万円		年間労働時間		2,500 時間		4,000 時間			
主たる従事者 1 人 当たりの年間所得		394 万円		435 万円		主たる従事者 1 人 当たりの年間労働時間		2,500 時間		2,000 時間			
②農業経営の規模拡大に関する現状及び目標													
(1) 生産										(2) 農畜産物の加工・販売その他の 関連・附帯事業 (売上げ)			
作目・部門名 (耕 種)	現 状		目 標 (R〇〇 年)		作目・部門名 (畜 産)	現 状		目 標 (R〇〇 年)		事 業 内 容	現 状	目 標 (R〇〇 年)	
	作付面積 (a)	生産量	作付面積 (a)	生産量		飼養頭数 (頭、羽)	生産量	飼養頭数 (頭、羽)	生産量				
水稻	200	11,400	400	22,800	肉用牛 (繁殖)	3	3	8	8	作業受託 (水稻)	33 万円	67 万円	
水稻 (借地)	300	17,100	600	34,200						農産品加工	80 万円	100 万円	
アスパラガス (半促成)	3	540	20	3,600							万円	万円	

(3) 農用地及び農業生産施設												
ア農用地						イ農業生産施設						
区 分	所在地		地 目	現 状 (a)	目 標 (R〇〇 年) (a)	種 別	所在地		規 模			
	都道府県名	市町村名					都道府県名	市町村名	現 状		目 標 (R〇〇 年)	
									棟	m ²	棟	m ²
所有地		由利本荘市	田	200	400	パイプハウス		由利本荘市	2	600	8	3,000
		由利本荘市	畑	3	3	畜舎		由利本荘市	1	100	1	100
借入地		由利本荘市	田	300	600	堆肥舎		由利本荘市	1	100	1	100
		由利本荘市	畑		17							
その他												
経 営 面 積 合 計				503	1,020	経 営 面 積 合 計				800		3,200
③生産方式の合理化に関する現状と目標・措置						④経営管理の合理化に関する現状と目標・措置						
現状：長年の経験と勘による作業、手作業が多い 目標：生産進捗確認表の導入、機械導入による作業効率化 施肥方式の省力化						現状：単式簿記による記帳、手書きによる経理 目標：複式簿記による記帳、パソコン活用による経理、青色申告の実施						
⑤農業従事の態様の改善に関する現状と目標・措置						⑥その他の農業経営の改善に関する現状と目標・措置						
現状：休日に決まりがない 目標：休日制度の導入、作業分散による労力の平準化 常時雇用者の確保						現状：特になし 目標：水稻新品種導入による販売額向上 (加工品) 新商品開発						

[illegible]

(別紙1) 生産方式の合理化に係る農業用機械等の取得計画

農業用機械等の名称	数量
トラクター	1
田植機	1
コンバイン	1

(注) 「農業用機械等の名称」欄には、生産方式の合理化のために、取得する予定の農業用の機械及び装置、器具及び備品、建物及びその附属設備、構築物並びにソフトウェア等を記載する。(②「(3) 農用地及び農業生産施設」に記載しているものは記載不要。)